

やさしい解説

AIT通信

Accounting Information Technology

2007年(平成19年)10月創刊
第49号 平成23年10月号

実りの秋
隣は何も
食うぞ



発行



有限会社エーアイティ研究所

〒969-1169
福島県本宮市本宮字小原田 200 番地 2
TEL 0243-33-5538 FAX 0243-33-4467
URL <http://www.motomiya-mcs.jp/ait/>
E-Mail info@motomiya-mcs.jp

インターネット Facebook vs Google+

9月末、ネットレイティングスは Facebook の国内利用者数が1,000万人を超えたと発表しました。1年前の利用者数が200万人でしたので、大幅に増加していることとなります。これは、インターネット利用人口比で17.1%が Facebook を利用していることになり、インターネットを利用する人の6人に1人が Facebook を利用していることとなります。実際、私の身近なところでも、「Facebook やっていますか?」という言葉を目にする機会が多くなりました。

企業も活用、Facebook

9月、ビー・オー・スタジオは、東証一部上場企業の Facebook の活用割合は18.6%であるとの調査結果を発表しました。

企業は Facebook に「Facebook ページ」を開設し、一般ユーザーに「いいね!」を押してもらうことで、自社が発信する情報を購読してもらうことができます。



<東証一部上場企業の中で、最も「いいね!」が多いカブコン>

企業としてはせっかく開設した Facebook ページを放置せず、継続的に情報提供を行うことでファン(見込み客)を増やしていくことが重要になります。

Facebook の対抗馬? Google+

検索エンジン最大手の Google が始めた SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)、Google+ (グーグルプラス) も注目されます。こちらは、分かりやすいユーザーインターフェイス (操作画面) と、「サークル」というグループ化の概念が特徴です。ビデオチャットルームや、画像の共有などが簡単に行え、SNS の新しい形を示しているように感じます。

こちらはまだ始まったばかりで、企業がどのように活用できるのかは未知数ですが、Facebook の対抗馬として、目が離せません。



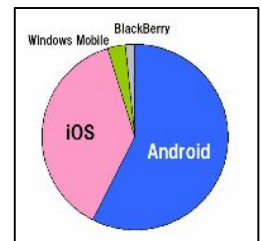
<今後に注目、Google+>

新商品 スマートフォン花盛り!

10月4日深夜、iPhone の新モデルの発表がありました。デザイン的には大きな変更はなかったものの、デュアルコアプロセッサを搭載するなど、中身は別物と言ってもいいような内容でした。また、au から発売されることが発表され、大きな話題となりました。国内ではスマートフォンのシェアが半分を占めるなど、各キャリアともスマートフォン中心の戦略を採るようになりました。

スマートフォンOS、3つ巴!

スマートフォンをOSから見ると、国内では iPhone 用の iOS、Google のアンドロイドが2強ですが、マイクロソフトの Windows Phone も巻き返しを図っています。マイクロソフトでは、(パソコン用の) 次期 Windows との親和性を持たせることで、優位性をアピールしていくようです。アップルも新型 iPhone の発売に合わせて、iOS5 を発表し、さらなる使用感の向上を目指しています。



<2010年度 OS別シェア MM総研>

通信量の問題も...

スマートフォンがシェアを増やす中で、携帯電話回線の容量不足が問題となってきました。パソコンと同じような機能を持つスマートフォンは、そのデータ通信量も多いため、携帯電話回線を圧迫してきているのです。実際には、一部のヘビーユーザーのために問題になってしまっているとのことですが、各キャリアは、データ通信料の定額制の見直しを行っているとも言われています。データ通信使い放題がなくなってしまうと、ちょっと不便になるかもしれません。

どうなる?日本のスマートフォン

スマートフォンの出始めの頃は、ワンセグやおサイフケータイには対応していませんでしたが、最近ではこれらの機能を搭載した機種も出てきました。日本独自の「ケータイ」文化をうまく取り入れ、さらなる普及が見込まれています。

編集後記 9月17日、郡山市磐梯熱海で行われた「LIVE 福島 風とロック SUPER 野馬追い」を観てきました。当日は1万5千人の観客で超満員でした。「福島の“今”を世界に伝えたい」との主催の箭内道彦さんの思いで、ライブの様子はYouTubeで生中継もされました。出演者と観客が一体となった「I love you & I need you ふくしま」の大合唱は忘れられません。福島でがんばる人、避難した人、県外の人、各々が「福島が好き」との想いを共有できた素晴らしい1日でした。(本田)